



大淀中だより

学校教育目標「自主・自律の態度と共生の心を育成する」

京都市立大淀中学校

学校だより

令和7年(2025)7月18日

校長 塩見 登

最後の夏（夏季大会）

6月21日(土)の陸上部を皮切りに3年生にとっては中学校生活最後の夏季大会が始まりました。今年は、例年よりも梅雨明けが早く炎天下の中での暑い熱い戦いが各会場で繰り広げられています。

【男子ソフトテニス部】 個人戦。全市大会の西院コートでプレーしたい。果たして何ペアが全市大会へ!?

●M.Rさん(3-4)T.Sさん(3-4) 全市大会出場! ●T.Nさん(2-2)Y.Sさん(2-3) 敗退 ●T.Yさん(2-4)U.Aさん(2-4) 敗退

●G.Sさん(3-5)I.Kさん(3-2) 敗退 ●K.Eさん(2-2)M.Yさん(2-5) 敗退 ●K.Yさん(2-2)A.Tさん(2-2) 敗退

●K.Yさん(2-3)K.Tさん(2-4) 敗退 ●T.Yさん(2-5)T.Kさん(2-3) 敗退

●H.Rさん(3-3)T.Hさん(2-3) 全市大会出場! ●N.Sさん(2-4)M.Tさん(2-4) 全市大会出場!

3組が全市大会へ!

【サッカー部】 1回戦 0-1 敗退。互角の戦い。ラスト2分の悪夢。涙のナイスゲーム。

【水泳部】 専門と違う種目に出ている人もいます。7月24日25日の府大会が勝負になります。

●女子50m 自由形 N・Tさん(3-2) 2位 ●女子100m バタフライ H・Hさん(3-2) 2位 ●女子200m バタフライ K・Kさん(3-5) 5位

●女子200m 個人メドレー H・Hさん(3-2) 2位 ●女子4×100m リレー I・Nさん(1-2) H・Hさん(3-2) K・Kさん(3-5) N・Tさん(3-2) 8位

●女子100m 背泳ぎ N・Tさん(3-2) 出場 ●女子100m バタフライ K・Kさん(3-5) 出場 ●女子50m 自由形 I・Nさん(1-2) 出場

●男子50m 自由形・100m 平泳ぎ D・Rさん(3-2) 出場 ●男子50m 自由形・100m 自由形 I・Yさん(2-3) 出場

女子総合5位 おめでとうございます!

【女子ソフトテニス部】 2年生 1 ペアの出場です。全市大会西院コートに行けるのか!?

●K.Sさん(2-2)T.Nさん(2-3) 敗退



先生の悩み(トークイン大淀 先生版)

第2回トークイン大淀は、体育館の暑さを考慮しリモートで行いました。1年生“学習について”2年生“チャレンジ体験を通して”3年生“修学旅行から”というタイトルで2名ずつ発表してくれました。原稿をしっかりと読む生徒もいれば、原稿を持たず自分の言葉で語ってくれる人もいました。ここでは、先生を代表して発表してくれた2年生担当の K 先生の悩みを振り返りたいと思います。是非、ご一読ください!

“教員になって7年目になります。でも、いまだに「生徒心がよくわかりません。」自分も昔は生徒だったのに、不思議なものです。「これは絶対にウケる」と自信満々に話しても冷たい目で見られたり、逆に何気なく言った一言が妙に深く受け取られてしまったり。毎日が手探りです。「あのとき、もう少し違う言い方をしていたら・・・」「あの一言は余計だったかな・・・」と、帰り道に反省会をしてしまう日も多いです。思春期の生徒たちは、本当に複雑な時期を生きています。日によってテンションも違えば、反応もバラバラ。その日の気分や体調、周囲との関係性など、あらゆるものが影響しているのだと思います。自分の中でも整理しきれない気持ちを抱えている生徒も多く、なかなか本音が見えてこないこともあります。そんな生徒たちに対して、どう寄り添えばいいのか、どのくらいの距離で関わればいいのかは今でも模索中です。近づきすぎると重たく感じられてしまうし、かといって距離を置きすぎると「わかってくれない」と思われてしまう。毎日がその繰り返しです。でも、そんな中でもふとした瞬間に見せてくれる笑顔や、何気ない会話の中でこぼれる本音に触れると、「ああ、よかった」とホッとします。授業後に「先生、あれめっちゃおもしろかった」と言ってもらえたり、悩んでいる子がぼつりと自分の気持ちを打ち明けてくれたりすることが私にとって何よりの支えになっています。この仕事に正解はないかもしれませんが、でも、だからこそ悩むことをやめてはいけないのだと思います。生徒と一緒に私自身も悩み、迷い、成長していく。そんな日々を重ねながら、少しずつでも生徒たちにとって「安心できる大人」になっていけたらいいなと思います。”

大淀中学校自慢の教職員の一人です。これから、きっともっともったいい先生になると信じています。

社会探究～ドリームゼミへ(総合的な学習)

昨年度、東京都渋谷区が先進的に取り組んでいる探究活動に視察に行ってきました。そして、今年度は、広島県福山市の中学校にも視察に行きました。そして、探究活動大淀中学校版が3年生を中心に発進しました。JRA京都競馬場・ケイコン株式会社・伏見区役所など地元企業のご協力のもと、3年生の社会探究が本格的にスタートしました。社会探究を足がかりに、3年生が自分の探究する“テーマ”を絞り出しています。3年生ひとりひとりが自分のゼミを開校します。それをお手伝いする1年生2年生がどのゼミに入るかを選んでいます。誰もが入りたいゼミに入れるわけではありません。募集人員に対して定員オーバーの場合は、3年生が面接をします。面接をする3年生も面接をしてもらう1年生と2年生も真剣そのものです。面接が終わったあとも3年生が必死に悩んでいる姿が印象的です。答えがない取組が本格的に始まります。いよいよ2学期から夢の探究活動“ドリームゼミ”本格始動です。乞うご期待!



熱中症対策(帽子・日傘・水筒)

教室にクーラーがなかった時代。それでも教育活動は、普通に行われていました。体育終わりに下敷きであおいだ風が生暖かい。あれから約40年。確実に気候変動していると感じています。突然のゲリラ豪雨に落雷。マンホールが地上から吹き上げる現象。登校時間からうだるような暑さです。夏休みや2学期も今以上に暑くなります。各自、日差しを避けるために帽子・日傘などで身を守るようにしてください。また、水分補給も大切な熱中症対策になります。登校時や外出時は水筒を忘れず持参するようにしてください。学校では、熱中症対策として、夏休みの部活動は公式戦や校外での練習試合を除いて基本的に午前中だけの予定にしております。また、活動中はクーラーを稼働した部屋を常に準備する予定です。

～淀から世界へ(校長の独り言)～

“先生、「校長の独り言」読みましたよ!” “先生、まあまあええこと書いてますねえ” “先生、関西万博行ってきましたよ! ジンバブエは行ってないけど(笑)” “あんた、文章書けるんやなあ~ (校長の母より。)” 多方面から、この“独り言”のコメントをいただいています。何気なく書き始めた“独り言”コーナーも読んでいただいている人がいることが、楽しくもありちょっとプレッシャーに感じることもあります。気軽に読んでいただくと幸いです。ある保護者の方から“先生、けどなんでまたジンバブエに行ったんですか?” こんな質問がありました。理由がいっぱいありすぎて即答できませんでした。自分を振り返ってみると、原点は中学校入学にあったかも知れません。大阪のうどん屋で生まれ育った私は、中学入学と同時に父の仕事の関係で千葉県に転校することになりました。まさに人生で初めて経験する“異文化体験”です。自己紹介するだけで、大阪弁に大笑いしてくれる! うどんの汁は濃い! 電車待ちの列はみんなちゃんと並んでいる! 国内異文化体験です。中3で大阪に戻るまで、自分は人気者だったと勘違いの2年が過ぎていきました。そんな経験から大学選びも東京の大学を選ぶことになるのです。東京での大学生活が始まったある日、横浜の花火大会で後方から声がします。“塩見!” 高校時代のソフトボール部の先輩でした。先輩は、決してプレーは上手くなかったですがひたむきに練習する姿がかっこよかった先輩でした。そんな先輩との偶然の再会。その先輩との出会いが、私のちょっとした冒険心に火をともしてくれました。“塩見、今度、俺このバイクでアメリカ横断すんねん。お前も大学時代に出来ることやった方がええぞ!” 尊敬する先輩に負けてなるものか。バイトで貯めたお金で自転車屋へ。ちょっと高めの自転車を購入し、リュックに荷物を詰めてパンク修理の仕方わからないまま、北海道苫小牧行きのフェリーに乗り込んでいました。そこから1ヶ月かけての約2,000キロの単独自転車旅がスタートするのです。 (北海道自転車旅がジンバブエにどう繋がるのか?? 次回へ続く)